

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束の弊害については理解しているが、利用者の安全を考慮し、玄関は施錠し、インターホーン対応にしている。昼間の解錠も検討しているが、設備集中管理の関係で、玄関の解錠ができない状況であり、身体拘束のないケアを行うことが課題である。	日中の事務所、スタッフが2ユニットで6名以上の就労時には玄関ドアの解放を行う。退室は夜間でも自由にできるようにする。	日中(地域の感染症発生時期や利用者の感染症、体調不良以外)の玄関ドアを開いたままでの拘束解除を午後2時から5時までの間、可能な限り行う。退出は自由にできるように玄関横の解除ボタンで、玄関が開けることができる表示をわかりやすく提示する。	1～3ヶ月
2	35	夜間帯の災害対策として職員への緊急電話連絡や自主避難訓練は定期に行っているが、夜間帯の発生を想定し、近隣住民の協力を得た避難訓練を行っておらず、対策が不十分である。	夜間を想定した避難訓練を日中に利用者と一緒にいき、職員全員の意識を高め、避難に対して利用者にも慣れてもらい、理解を得るようにする。地域の避難訓練に利用者とともに参加し、近隣や地域の協力が得られるようにする。	夜間を想定し、日中に各ユニット職員1名で利用者の避難訓練を実施した。今後も続けていくことで職員や利用者の避難意識を高めたい。月～金曜の14時から15時までを散歩時間とし、外出を職員と行うことで利用者と共に外に出ることに慣れてもらうように実施している。地区の津波を想定した避難訓練に利用者に参加し、近隣や地域住民と一緒に避難したことで協力が得られたが今後訓練に参加し、協力を得られるように、また協力できることを実施していく。	1ヶ月
3	36	やむを得ぬ事情であっても、プライバシーの確保は重要であるのに、排泄時にトイレのドアを一部開放しており、利用者に対してのプライバシーを確保できないことがある。	トイレ個室で不安になる利用者に対しても、プライバシーが確保できるように考慮し、利用者の不安がなく、気持ちよく排泄ができるようにする。	基本的には必要であれば、利用者と一緒にトイレに入り、介助を行うようにする。車椅子で利用できるトイレのドアにレースカーテンを設置し、やむを得ず一部ドアを開けての使用でもプライバシーが確保できるようにし、今後他にも考慮して対応を行っていく。	1ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。